検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび検査内容を変更させて頂きたくご案内いたします。何卒ご了承賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

謹白

記

検査内容変更項目

● 別掲の一覧表をご参照下さい。

実施期日

● 平成 23 年 4 月 1 日(金)受付より



検査内容変更項目一覧

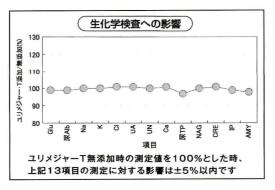
コート・	項目名	変更箇所	新	IΒ	備考 (検査案内掲載頁)
1681	KL-6(シアル化糖 鎖抗原 KL-6)	基準範囲	500 U/ml 未満	500 U/ml 以下	試薬添付文書に準拠 (15 頁)
2180	遊離コレステロール	基準範囲	33~63 mg/dl	31~64 mg/dl	試薬の変更 (未掲載)
331	Fe(鉄)	報告下限値	5 μg/dl 未満	1 μg/dl 未満	試薬添付文書に準拠 (19 頁) 【注1】
507	プロラクチン(PRL)	検査方法	CLIA	IRMA	… 高性能機器・試薬への 変更 (37 頁) …
		基準範囲	M 3.58~12.78 ng/ml F 6.12~30.54 ng/ml	M 1.5~9.7 ng/ml F 1.4~14.6 ng/ml	
		報告下限値	0.60 ng/ml 未満	1.0 ng/ml 未満	
		所要日数	2~3 日	2~4 日	
526	サイログロブリン (Tg)	検査方法	ECLIA	IRMA	 高性能機器・試薬への 変更 (38 頁)
		基準範囲	32.7 ng/ml 以下	30 ng/ml 以下	
		報告下限値	0.1 ng/ml 未満	8.0 ng/ml 未満	
		所要日数	2~3 日	3~4 日	
528	TSHレセプター抗体 (TRAb)(TBII)	基準範囲	15 % 以下	-15 ~ 15 %	依頼数減少に伴う外注 ・・・化 委託先:SRL (38 頁)
		報告下限値	0 %	下限値設定なし	
573	Cーペプタイド負荷	検査方法	CLEIA	IRMA	… 高性能機器・試薬への 変更 … (44 頁)
		基準範囲	(空腹時負荷前) 0.61~2.09 ng/ml	(空腹時負荷前) 0.7~2.2 ng/ml	
		報告下限値	0.02 ng/ml 未満	0.1 ng/ml 未満	
		所要日数	2~3 日	3~5 日	
577	Cーペプタイド(尿)	検査方法	CLEIA	IRMA	高性能機器・試薬への 変更 (45 頁) 【注2】
		基準範囲	設定なし	(参考値) 30~140 μg/l	
586	C-ペプタイド(血清)	検査方法	CLEIA	IRMA	高性能機器・試薬への 変更 (45 頁)
		基準範囲	(空腹時負荷前) 0.61~2.09 ng/ml	(空腹時負荷前) 0.7~2.2 ng/ml	
		報告下限値	0.02 ng/ml 未満	0.1 ng/ml 未満	
1227	C-ペプタイド(蓄尿)	検査方法	CLEIA	IRMA	高性能機器・試薬への 変更 (45 頁) 【注3】
		基準範囲	29.2~167.0 μg/day	24~118 μ g/day	
1267	PIVKA— II	基準範囲	40 mAU/ml 未満	40 mAU/ml 以下	試薬添付文書に準拠 (49 頁)
199	RPR(定性)	項目名	梅毒定性(RPR法)	RPR(定性)	項目名称の見直し (64 頁)

コート・	項目名	変更箇所	新	IΒ	備考 (検査案内掲載頁)
247	RPR(定量)	項目名	梅毒定量(RPR法)	RPR(定量)	項目名称の見直し (64 頁)
207	ASO(ASLO/抗スト レプト 0 価)	報告下限値	10 IU/ml 未満	0 IU/ml	試薬添付文書に準拠 (64 頁)
25	FDP	報告下限値	2.0 μg/ml 未満	0.1 μg/ml 未満	自社検討による測定範 囲の見直し (87 頁)
1579	ローダイマー	報告下限値	0.40 μg/ml 未満	0.00 μ g/ml	自社検討による測定範 囲の見直し (87 頁)
1230	トロンビン・アンチトロ ンビンⅢ複合体 (TAT)	報告下限値	0.4 ng/ml 未満	0.1 ng/ml 未満	試薬添付文書に準拠 (88 頁)
107	尿蛋白定量	報告下限値	3.0 mg/dl 未満	0.0 mg/dl	自社検討による測定範 囲の見直し (98 頁)
2214 (2215) (2216)	便中ヒトヘモグロビン 精密(ヒトヘモ精密)	報告下限値	50 ng/ml 未満	0 ng/ml	試薬添付文書に準拠 (99 頁)

【注1】: 計算項目である総鉄結合能(TIBC/コード 332)は、Fe(鉄/コード 331)と不飽和鉄結合能(UIBC/コード 333)の合計によって求められますが、いずれかの**測定値が報告下限値を下回る場合には『計算不可能』**とご報告させていただきます。

【注2】: 尿中の C-ペプタイド (CPR) は食事の量・食事から採取までの時間によって大きく変動します。これまで部分尿でご依頼の際も参考基準値を報告しておりましたが、採取条件が異なる場合は適切でないことから部分尿での参考基準値は削除させていただくことに致しました。

【注3】: C-ペプタイドを蓄尿する際の保存剤は、炭酸ナトリウムをベースとした「尿 C-ペプタイド安定化剤」または、「ユリメジャータブレット」を推奨いたします。「尿 C-ペプタイド安定化剤」は他項目の測定値に影響を及ぼすことが確認されておりますので、C-ペプタイド単独依頼でのご提出をお願い致します。複数項目同時依頼のご予定がある場合は、「ユリメジャータブレット」の使用をお薦め致します。



「尿 C-ペプタイド安定化剤」は栄研化学、「ユリメジャータブレット」は関東化学より販売されております。 お取引のある医薬品納入業者等にご相談下さい。

